



済生会

わがやま

NEWS

第28号

発行日: 2014.12



～ 理念 ～

私たちは、地域社会に親しまれ、信頼され、患者さんも職員も元気が出る病院をめざします。

患者さんの権利と責務

1. 平等に良質で適切な医療を受ける権利があります。
2. 医療に際して十分な説明を受ける権利があります。
3. 検査・治療等に際してそれを受ける事を自己の判断のもと承諾あるいは、拒否する権利があります。
4. 医療のどの段階においても他の医師や医療機関の意見を求める権利があります。
5. 自己の病状について情報を得る権利があります。
6. 自己の病状について個人的情報の秘密を守られる権利があります。
7. 医療に関する苦情を申し立てる権利があります。
8. 良質な医療を実現するために、自己の健康状態に関する情報を正確に伝える責務があります。
9. 治療費を支払う責務があります。
10. 良好な療養生活を守るために、定められた諸規則を守る責務があります。
11. 医師・看護師や病院職員の指示に従う責務があります。

— Information —

看護部長代行 児玉 百合子

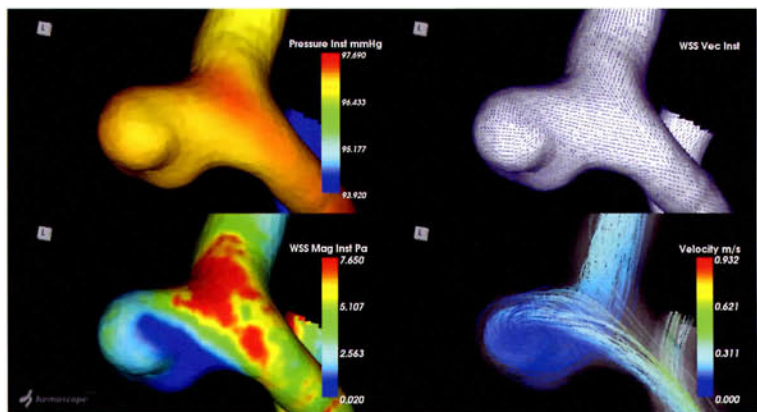
平成26年4月1日付けで看護部長代行に就任致しました。私たち看護師は患者さんの一番近くにいる存在です。患者さんとの関わりを通してたくさんのごことを学ばせて頂いています。患者さんとの関わりを通し患者さんやその家族の方が満足し、私たち看護師がやりがいをもって、笑顔で楽しく質の高い看護が提供できればと思っています。世間一般では良い結果を出すためには、「心」「技」「体」の「三位一体」が必要とされています。看護における「三位一体」は「心」「技」「知」が必要だと私は考えます。「心」は精神力、心を磨くということ、「技」は技術を磨くということ、「知」は知識をもって感性を磨くということです。しかしこの「心」「技」「知」がそなわっていても、質の高い看護は提供できません。もう1つ大切なことは、相手を思う気遣い、配慮、思いやりの心がなければならないと思います。私たちは、常に患者さんや家族の立場に立って考え寄り添うことや気遣い、思いやりを大切にすることを教育されてきています。患者さん家族だけではなくチームで仕事をしていく上で、一緒に働いているスタッフみんながお互いに相手の立場に立って物事を考え歩み寄る姿勢が大切ではないかと思います。仕事は楽しいことばかりではありませんが患者さんや家族のためにみんなで力を合わせることで、患者さんやみんなが笑顔で元気であれば「明日も頑張ろう」と前向きな気持ちになります。病院の理念にもあるように「地域社会に親しまれ、信頼され、患者さんも職員も元気がでる病院になるよう」にまた、患者さんやそのご家族に「この病院で良かった」と言ってもらえるよう「心」「技」「知」と思いやりをもって頑張りたいと思います。



済生会和歌山病院脳神経外科の近況報告をさせていただきます。われわれは仲寛部長（副院長）を中心に4人体制で診療をおこなっております。「365日、24時間、救急対応」をモットーに日夜勤務しています。市内には、より急性期に特化した大病院が存在しますが、脳神経外科領域においてはそれらの医療機関同等の医療サービスができるような体制を整えるようにしております。最近の当科の体制や新しい取り組みについて、紹介させていただきます。

- (1)メンバー：仲寛、山家弘雄、三木潤一郎、林宣秀の4人体制で診療していましたが、今年10月1日より林先生に変わり、新しく越道慎一郎先生が赴任されました。全員卒後10年以上であり、一人で緊急手術を完結できる医師で構成されています。さらに外来や脳神経外科運営全般に関して林靖二先生、脊椎手術に関しては、いまえクリニック院長今栄信治先生にサポートしていただいております。
- (2)脳梗塞急性期医療：近年の脳梗塞超急性期医療の変化に対応し、ステント型血栓回収機器が使用可能です。現在の脳梗塞超急性期医療は発症4.5時間以内（2012年9月改定）であればtPA静注を施行し、tPA無効例や発症8時間以内の場合は血管内治療を考慮します。従来の機械的血栓回収機器に加え、2014年よりステント型血栓回収器が国内に導入されました。当院でも最新機器が使用できる環境となっています。
- (3)地域連携・懇話会：当科の入院患者さんの約70%は脳卒中であり、開業医の先生からの紹介が多いです。よって当科では以前より脳梗塞連携パスを作成・運用をしたり、開業医の先生方との勉強会に力を入れてきました。平成26年9月13日には「第1回和歌山脳卒中地域連携懇話会」を当院循環器内科の先生と合同で開催しました。土曜日で急な開催にも関わらず、45名と多くの方に参加・協力していただき盛況でした。引き続き、地域の先生方との連携を密にしていきたいと考えております。

(4)新検査法（脳血流解析）：新しい試みとしては、放射線技師さんの協力のもと、脳動脈における流体解析（CFD）にチャレンジしております。CFD解析を行うことで動脈瘤壁にかかる圧やずり応力などが計測可能となります。最先端の診断機器の臨床応用を目指しています。



脳動脈における流体解析（CFD）

上記が、近況となります。これからも地域の先生方に信頼されるよう努力いたしますので、何卒よろしく申し上げます。

～ 赴任のお知らせ ～



循環器内科
尾鼻 正弘 医師
10月1日に赴任致しました。
おばな まさひろと申します。

どこかで聞き覚えのある名前かもしれません（尾花正啓和歌山市長との関係はございません。）約10年前から3年間、当院循環器内科で勤務させて頂き、先生方には大変お世話になりました。その後、新宮市立医療センター→国立和歌山病院と紀伊半島を回って戻って参りました。微力ながら地域医療に貢献していく所存です。何卒よろしくお願ひ致します。



脳神経外科
越道 慎一郎 医師
10月1日より脳神経外科に赴任しました。
越道 慎一郎（こしみちしんいちろう）です。今

までは南和歌山医療センター、日本赤十字和歌山医療センターや紀北分院にて勤務してきました。和歌山市の医療に微力ながら貢献できるように頑張らせていただきます。どうかよろしくお願ひいたします。



整形外科
山東 茂樹 医師
7月1日より赴任し、主に骨折治療を担当しています。
当院に赴任するまで

は、橋本市民病院に勤務していました。地域の皆様のお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願ひいたします。



～ 井関良夫名誉院長先生のご勇退に際して ～

外科部長兼地域医療連携室長 重里 政信



<H15.9.27>
移転改築事業落成式典での井関
名誉院長



井関名誉院長(右)と
重里部長(左)

井関先生、永年お勤めお疲れ様でした。

先生は昭和49年に内科医長として済生会和歌山病院に入職されました。その当時、病院経営は大変悪く、施設も老朽化し、病院存続が危惧されていました。そんな中、井関先生は昭和55年に院長職を受諾されました。

院長として、経営改善に努力すると同時に、高度な学識と技術の導入により、向上心の強い医師たちの期待に応え続けました。その結果、済生会の理念である患者さんの立場に立った医療の充実がなされていきました。

昭和63年に開院40周年を契機に、地域住民を対象に無料医療相談会を毎年実施するようになりました。(当時、病院隣にできたイズミヤの2階で買い物のお客さんに来てもらいました。)

住民だけでなく、地域の診療所との病診連携、親交を図るため、平成7年から現在の「和歌山東臨床研究会」や「登録医総会」につながる、地域医療のための臨床研究会を毎年開催するよう努められました。その結果、徐々に患者さんも増え、地域に根を下ろした病院としての評価が固まっ

ていきました。私は昭和64年に済生会和歌山病院に入職しました。ちょうど病院が発展する時期でした。当時は診療方針を巡って井関院長と議論したことも多く、自分では辛く、しんどい時期のように思いましたが、(多分院長も辛かったと思いますが。)病院職員が頑張ったら、それに期待して患者さんがたくさん病院に来てくれる生きがいを感じながら、仕事をしていたように思います。

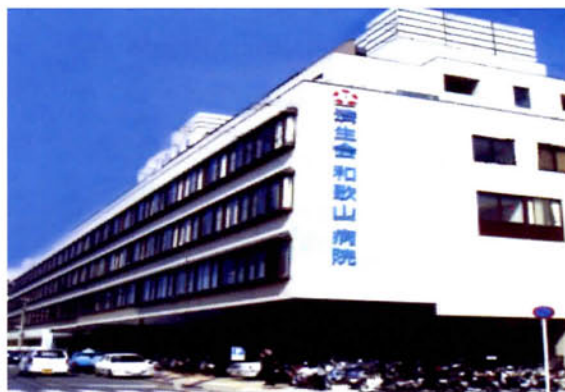
平成10年ごろから、病院のクラス分けが始まり、済生会和歌山病院も急性期病院か慢性期病院か?の岐路に立ちました。井関院長は急性期病院への道を選びました。そのためには、病院の建て替えが必要でしたが、資金面でのハードルは高く、難渋しました。紆余曲折の結果、平成15年に旧和歌山医大跡地、つまり現在の病院に移転することになりました。

急性期病院として生きていくために、井関院長は、脳神経外科の開設、電子カルテの採用、地域医療連携室の設置、病院機能評価受診、新人事制度の検討などを他の病院に先駆けて導入していきました。その結果が徐々に実を結び、現在の済生会和歌山病院が出来上がったのです。

院長職を退任された後も、健診医、産業医として病院を支え続けていただいた井関先生は、医師人生のほとんどを、済生会和歌山病院に捧げてくれました。本当にご苦労様でした。これからは、病院の外から私たちを見守っててください。



開院40周年(昭和63年)



平成15年10月現在地に移転

済生会和歌山病院外来診療予定表

(平成26年12月1日現在)

区分		月	火	水	木	金
内科	消化器内科	山原 邦浩	河野 尚宏	山原 邦浩	合田 杏佑	川口 雅功
		合田 杏佑	—	川口 雅功	—	河野 尚宏
	糖尿病代謝内科	—	玉川 えり	—	巽 邦浩	—
		巽 邦浩	英 肇	荒古 道子	英 肇	荒古 道子
循環器内科	—	辻岡 洋人	—	—	—	
	尾鼻 正弘	大鹿 裕之	尾鼻 正弘	辻岡 洋人	大鹿 裕之	
脳神経外科	山家 弘雄	仲 寛	山家 弘雄	仲 寛	林 靖二	
	三木潤一郎	—	越道慎一郎	三木潤一郎	—	
外科	—	高垣 有作	—	—	—	
	重里 政信	—	重里 政信	—	中村 恭子	
	—	—	ストーマ外来	—	—	
心臓血管外科	栗山 雄幸	—	栗山 雄幸	—	岩橋 正尋	
整形外科	山東 茂樹	原田 悌志	新患診	松崎 交作	瀧口 登	
	瀧口 登	山崎 悟		山崎 悟	原田 悌志	
	西山 大介	—		西山 大介	—	
リハビリテーション科	医大応援医師	湯田 啓之	湯田 啓之	湯田 啓之	湯田 啓之	
耳鼻咽喉科	—	—	医大応援医師	—	—	
腎センター	—	—	—	岡本 昌典	—	
眼科	金 桂 洙	宮本 武	—	森井 智也	白井 久美	
皮膚科	上中 智香子	—	—	山本 有紀	—	
泌尿器科	—	—	曲 人保	—	柑本 康夫	

※外科、高垣有作はリンパ浮腫外来となります。

【受付時間】 午前（全科） 8時30分～11時00分（但し、予約患者は除く）

- *腎センターは木曜日午後 保存期外来を実施。
- *月曜日午後1時から予約制で禁煙外来を行っています。
- *眼科は水曜日休診となっております。
- *水曜日はストーマ外来を実施しています。
(予約制・初診の方は紹介状が必要です)

*当院では予約診療を行っているため、予約無しで来院された場合は、紹介状を持参されていてもお待ち頂く場合がございますのでご了承ください。



診療案内

診察日：月～金曜日

受付時間：午前8時30分～午前11時（但し、予約患者はこの限りにあらず）

休診日：土・日・祝祭日（年末年始）

面会時間：月～金曜日 午後2時～午後7時 土・日・祝祭日 午前10時～午後7時



交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ

地域医療連携室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187